

1. 日 時

2. 学年・学級

3. 場 所

4. 単 元 名 北方領土問題を“知ろう！” “考えよう！” “伝えよう！”

5. 指導にあたって

(1) 単元・教材について

中学校学習指導要領（平成29年度3月告示）解説社会編では、三分野で我が国の領土に関する学習をより一層充実することが求められている。そこで、本単元は、生徒の領土問題についての理解や考えを深め、発信者として広げよう・繋げようとする姿勢を育みたいと考え、設定した特設単元である。

生徒に学習内容を具体的にイメージさせることを促進するため、「DVD『ジョバンニの島』視聴」（「総合的な学習の時間」活用）、「根室高校出前講座」、「元島民によるオンライン講話」を活用し、強い想いを共有できればと考えている。

(2) 生徒観

本学級生徒は、領土問題について日常生活の中でなかなか関わりがなく、当事者として考えることには難しさがあり、次世代へつながりがもちづらいつと考えられる。事前に「領土問題についてどれくらい知っているか」という問いに対して、「学んだことがあり、聞いたことはあるが、具体的にはあまり知らない。」という生徒が多かった。また、本時につながる事前段階としては、地理的分野及び歴史的分野の学習を通じて、地理的・歴史的な見方を学んできているが、それぞれを関連付けて、理解している生徒が少ないというのが現状である。

これらのことから、本学級の生徒は、基本的な理解はあるが、そこから領土問題について、地理的・歴史的なつながりについて考えをもてていないと考えられる。

(3) 指導観

指導にあたっては、地理的分野・歴史的分野それぞれの視点から領土問題について改めて理解できるようにするとともに、公民的分野の視点からの領土問題を含めて、それらを関連付けて領土問題を捉え、生徒が次世代へつなげられるようにしたい。

そのため、生徒一人一人が領土問題について当事者意識をもつことができるように、まずは知識を習得し、領土問題のあらましを理解する内容を設定する。そして、根室市で研究会をつくって活動している高校生や北方領土元島民の方からの講話を聞き、理解を深めつつ、自分たちと関わりがあるという意識をもたせる活動を設定する。

最後に、内容をまとめ、整理し、それを発表する活動を設定することで、生徒一人一人が領土問題について当事者意識をもって次世代につなげていけるようにしたいと考える。

6. 単元の目標

対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、領土問題に係る課題を追究する活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにする。

- (1) 「北方領土が我が国固有の領土であること」「江戸時代後半以降の北方領土に係る経緯を知ること」
「国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力が大切であること」を関連付けながら、理解する。(知識及び技能)
- (2) 日本国憲法の平和主義を基に我が国の安全と防衛について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 現代社会に見られる領土問題に係る課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。(学びに向かう力、人間性等)

7. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・「北方領土が我が国固有の領土であること」「江戸時代後半以降の北方領土に係る経緯を知ること」「国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力が大切であること」を関連付けながら理解している。	・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

8. 指導計画及び評価規準（全5時間）

次	学習活動	評価規準	評価方法等
1	<p>地理的分野及び歴史的分野における北方領土学習について、振り返る。</p> <p>【単元を貫く問い】 ○「領土問題は、どのように解決していくことができるだろうか。」</p>	<p>・北方領土について地理・歴史の既習事項を振り返りながら、再理解している。 【知・技】</p>	ワークシート
2	<p>高校生による出前講座を通して、北方領土問題について自分なりの考えをもつ。</p>	<p>・出前講座での高校生と自分自身を比較し、中学生の自分にできていることを考えている。 【思・判・表】</p> <p>・領土問題について関心をもち、その解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 【態度】</p>	<p>観察 ワークシート</p>
3	<p>元島民の方の講話を通して、北方領土問題について、理解を深める。</p>	<p>・元島民の方の話を聞いて、現実味を感じながら、実際の状況や様子について理解している。 【知・技】</p>	<p>観察 ワークシート</p>
4	<p>これまでの学びも踏まえて、地理・歴史・公民・オンライン講座から学んだことの4点について、グループで分かれて整理し、相手に伝わりやすくなるようにまとめる。</p>	<p>・学んだ内容を相手に伝わりやすいスライドにまとめようとしている。 【思・判・表】</p>	スライド
5 (本時)	<p>まとめた内容について発表したりその発表について質疑応答したりすることを通して、多面的・多角的に考察し、構想する。</p>	<p>・まとめた内容について発表したり他グループの発表について質疑応答したりすることを通して、多面的・多角的に考察し、構想している。 【思・判・表】</p>	<p>スライド ワークシート</p>

9. 本時について

(1) 目標と評価規準

本時の目標	概ね満足できると評価できる 状況 (B)	努力を要すると判断された 生徒への対応と手立て
-------	-------------------------	----------------------------

北方領土問題について多面的・多角的な視点で考察し、構想している。	単元の学習を振り返りながら、ワークシートに北方領土問題についての自分の考えを、多面的・多角的な視点で記入している。	キーワードをもとにそれぞれの発表の内容を確認しながら、それらをもとにワークシートに記入させる。
----------------------------------	---	---

(2) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (◇)	評価規準 評価の方法
導入 5分	・本時の流れについて、説明を聞き理解する。	◇流れを黒板に提示し、視覚的に分かるようにする。	単元の学習を振り返りながら、北方領土問題について多面的・多角的な視点で考えている。(ワークシート)
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">めあて：「北方領土問題の情報の発信者になろう」</div> ・地理→歴史→公民→オンライン授業のまとめの順に各5分程度で相手に伝わりやすくなるよう発表する。 ・各視点の発表の終了後、5分程度質疑応答の時間度設け、応答しながら理解を深める。(質問内容は事前に考える。) ・質疑応答の後、ワークシートに記入しそれぞれの発表について評価し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【発表時間】 各5分 【発表順】 ①「地理」の視点 ②「歴史」の視点 ③「公民」の視点 ④「オンライン学習」について 【質疑応答について】 ・各発表資料を事前配布し、予め質問等を考えておく。 </div>	
まとめ 5分	・この時間に学んだこと、学びが深まったことをワークシートに書き、学習の振り返りを行う。		